



2023年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年6月9日

上場会社名 株式会社モルフォ 上場取引所 東
 コード番号 3653 URL <https://www.morphoinc.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平賀 督基
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 内田 明美 TEL 03 (6822) 2629
 四半期報告書提出予定日 2023年6月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第2四半期の連結業績（2022年11月1日～2023年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	995	9.5	△277	—	△291	—	△357	—
2022年10月期第2四半期	908	11.3	△323	—	△288	—	△302	—

(注) 包括利益 2023年10月期第2四半期 △368百万円 (—%) 2022年10月期第2四半期 △251百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第2四半期	△69.71	—
2022年10月期第2四半期	△58.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期第2四半期	3,439	3,031	88.1	590.97
2022年10月期	3,860	3,399	88.1	662.79

(参考) 自己資本 2023年10月期第2四半期 3,031百万円 2022年10月期 3,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年10月期	—	0.00			
2023年10月期 (予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年10月期の連結業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	20.2	△250	—	△250	—	△329	—	△61.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年10月期2Q	5,414,000株	2022年10月期	5,414,000株
② 期末自己株式数	2023年10月期2Q	284,964株	2022年10月期	284,964株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年10月期2Q	5,129,036株	2022年10月期2Q	5,150,685株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限が徐々に緩和され、持ち直しの傾向がみられるものの、世界的な金融引き締め等が続く中で、原材料価格の高騰や金融引き締めに伴う景気の下振れリスク等が懸念され、依然として先行きが不透明な状況で推移いたしました。

一方、当社グループが属する情報サービス産業におきましては、AIやIoT、5G（第5世代移動通信システム）といったデジタル技術を活用したデジタルトランスフォーメーション（DX）に対する企業ニーズの高まりを受け、関連市場は良好な状況が続いております。このような環境下、当社グループは、2022年10月期から始まる、新たな中期経営計画「Vision2024」を策定し、「Rise above what we see, to realize what we feel -人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-」をビジョンに掲げ、テクノロジーによるイノベーションを通じた顧客価値の最大化を目指すとともに、生活の利便性向上、安心安全な生活環境の提供、生産性向上の実現による社会問題の解決への貢献にも継続して取り組んでまいりました。

具体的には、スマートデバイス、車載/モビリティ、DXの3つの事業領域を戦略領域と定め、これら戦略領域においてイメージングテクノロジーを軸にした付加価値の高いソリューションを開発することで、顧客企業の課題解決を図ってまいりました。加えて、パートナー企業や顧客企業との連携を推進し、当該領域におけるドメインナレッジを蓄積、継続性と収益性の高いストック型のビジネスモデルによる事業拡大を目指しております。

スマートデバイス領域においては、スマートフォンとPC向けのソリューション開発及び営業活動に注力し、2023年4月にQualcomm Technologies, Inc. が発表したIT向け新チップセットのエコシステムパートナーとして選出されました。今後も同社と連携し、顧客への付加価値提供を推進してまいります。

モビリティ領域においては、主要既存顧客との車載機器向け共同研究開発に加えて、新規顧客開拓や自社プロダクト営業活動に注力いたしました。

DX領域においては、国立国会図書館のOCR処理プログラムを活用した市販ソフトウェア「FROG AI-OCR」の新機能搭載版をリリースしております。引き続き利便性向上に取り組み、近現代の書籍・雑誌のテキスト化ニーズを持つ自治体や地方図書館、大学等への展開を進めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は995,090千円（前年同四半期比9.5%増）、営業損失は277,298千円（前年同四半期は営業損失323,569千円）、経常損失は291,377千円（前年同四半期は経常損失288,614千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は357,538千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失302,868千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,154,373千円となり前連結会計年度末に比べ438,456千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が222,478千円、受取手形、売掛金及び契約資産が252,363千円減少したことによるものであります。固定資産は285,500千円となり、前連結会計年度末に比べ18,199千円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が25,628千円増加し、有形固定資産が1,837千円減少したことによるものであります。

以上の結果、総資産は3,439,873千円となり、前連結会計年度末に比べ420,257千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は393,922千円となり前連結会計年度末に比べ58,689千円減少いたしました。これは主に、契約負債が83,907千円増加し、買掛金が109,010千円減少したことによるものであります。固定負債は14,839千円となり、前連結会計年度末に比べ6,819千円増加いたしました。

以上の結果、負債合計は408,762千円となり、前連結会計年度末に比べ51,869千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,031,110千円となり前連結会計年度末に比べ368,387千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が357,538千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年12月9日に「2022年10月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,059,977	2,837,498
受取手形、売掛金及び契約資産	491,149	238,786
仕掛品	10,115	9,310
前払費用	17,939	63,661
その他	19,693	7,802
貸倒引当金	△6,045	△2,685
流動資産合計	3,592,830	3,154,373
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	288	83
車両運搬具(純額)	3,202	2,339
工具、器具及び備品(純額)	11,122	16,750
リース資産(純額)	10,915	4,519
有形固定資産合計	25,529	23,692
投資その他の資産		
投資有価証券	192,749	218,378
繰延税金資産	4,626	2,073
破産更生債権等	67,911	67,911
その他	26,044	23,005
貸倒引当金	△49,560	△49,560
投資その他の資産合計	241,770	261,807
固定資産合計	267,300	285,500
資産合計	3,860,130	3,439,873

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	126,947	17,937
未払金	80,540	74,162
未払法人税等	21,836	17,789
未払費用	24,236	20,765
契約負債	154,144	238,052
預り金	16,241	14,478
その他	28,663	10,736
流動負債合計	452,612	393,922
固定負債		
繰延税金負債	5,197	11,696
資産除去債務	2,248	2,254
その他	573	888
固定負債合計	8,020	14,839
負債合計	460,632	408,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,783,958	1,783,958
資本剰余金	1,732,628	1,732,628
利益剰余金	189,395	△168,142
自己株式	△370,999	△370,999
株主資本合計	3,334,983	2,977,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,777	26,503
為替換算調整勘定	52,737	27,163
その他の包括利益累計額合計	64,515	53,666
純資産合計	3,399,498	3,031,110
負債純資産合計	3,860,130	3,439,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
売上高	908,396	995,090
売上原価	446,292	542,036
売上総利益	462,103	453,054
販売費及び一般管理費	785,673	730,353
営業損失(△)	△323,569	△277,298
営業外収益		
受取利息	254	231
為替差益	31,360	—
持分法による投資利益	—	4,403
その他	7,160	1,345
営業外収益合計	38,775	5,980
営業外費用		
支払利息	891	183
持分法による投資損失	1,133	—
為替差損	—	18,894
その他	1,794	981
営業外費用合計	3,819	20,059
経常損失(△)	△288,614	△291,377
特別損失		
減損損失	—	43,837
特別損失合計	—	43,837
税金等調整前四半期純損失(△)	△288,614	△335,215
法人税、住民税及び事業税	14,254	19,770
法人税等調整額	—	2,552
法人税等合計	14,254	22,323
四半期純損失(△)	△302,868	△357,538
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△302,868	△357,538

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
四半期純損失(△)	△302,868	△357,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,310	14,725
為替換算調整勘定	31,170	△25,574
その他の包括利益合計	51,481	△10,848
四半期包括利益	△251,387	△368,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△251,387	△368,387

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△288,614	△335,215
減価償却費	72,623	16,742
減損損失	—	43,837
持分法による投資損益(△は益)	1,133	△4,403
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,180	△5,058
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,885	△3,360
受取利息	△254	△231
受取分配金	△1,381	△329
支払利息	891	183
為替差損益(△は益)	△28,917	10,989
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	171,336	250,148
棚卸資産の増減額(△は増加)	6,489	804
前払費用の増減額(△は増加)	346	△45,687
仕入債務の増減額(△は減少)	△87,373	△108,837
未払金の増減額(△は減少)	△29,506	△4,120
契約負債の増減額(△は減少)	30,130	85,832
その他	32,766	△507
小計	△128,394	△99,211
利息の受取額	254	231
分配金の受取額	1,381	329
利息の支払額	△891	△183
消費税の還付額	10,351	1,134
法人税等の支払額	△16,016	△24,229
法人税等の還付額	5,252	914
営業活動によるキャッシュ・フロー	△128,063	△121,015
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,416	△52,301
無形固定資産の取得による支出	△2,510	△6,879
敷金及び保証金の差入による支出	△18,977	△138
敷金及び保証金の回収による収入	1,616	2,791
預け金の払戻による収入	176,296	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	116,008	△56,527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△162,159	—
リース債務の返済による支出	△6,990	△9,097
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,149	△9,097
現金及び現金同等物に係る換算差額	67,221	△35,838
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△113,983	△222,478
現金及び現金同等物の期首残高	3,391,708	3,059,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,277,725	2,837,498

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。